華ひらく皇室文化

明治宮廷を彩る技と美

今上天皇御在位30周年祝賀

春季特別展

明治一五〇年記念



2018年

4月17日(火)—
5月27日(日)

開館時間:午前10時～午後5時(入館は午後4時半まで)
休館日:月曜日(但し、4/30(月・振休)、5/1(火)は開館)
観覧料:一般 1,400円、高大生 700円、小中生 500円
※20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引
※土曜日は小中高生入館無料
主催:徳川美術館、名古屋市蓬左文庫
CBCテレビ、中日新聞社、日本経済新聞社
企画:華ひらく皇室文化展実行委員会
協力:学校法人 学習院、CBCラジオ、名古屋市交通局
特別協力:博物館明治村
明治天皇・昭憲皇太后御料車特別公開
3/17(土)-4/23(月)
※詳しくは博物館明治村(電話 0568-67-0314)まで

掲載作品
上:七宝草花文双耳花瓶 竹内忠兵衛作 七宝会館製 一対の内
東京・霞会館蔵
下:中礼服 東京・文化学園服飾博物館蔵

明治150年 MEIJI 150TH

徳川美術館 蓬左文庫
THE TOKUGAWA ART MUSEUM HŌSA LIBRARY

華ひらく

明治宮廷を彩った日本の技と美。

明治天皇、昭憲皇太后が愛した調度品。


松竹梅文扇面形


窠形鴛鴦文

驚きの写実的表現これぞ、超絶技巧！


太平楽置物
海野勝珉作
東京・宮内庁三の丸尚蔵館蔵

皇室御用命の帝室技芸員並河靖之の七宝！


菊御紋蝶松唐草文様七宝花瓶
並河靖之作　一対の内
京都・泉涌寺蔵
撮影：©山崎兼慈


菊花形藤花図壷
初代 宮川香山作
東京・泉屋博古館分館蔵


色絵金彩花鳥文花瓶
幹山伝七作
東京・泉屋博古館分館蔵

現実的な光と遠近法を取り入れた革新的な大作！


重要文化財 白雲紅樹図
橋本雅邦筆
東京藝術大学大学美術館蔵
展示期間：4/17-5/6

皇室の御慶事を記念した菓子器 ボンボニエール



※は個人蔵、
他は全て東京・学習院大学史料館蔵

皇室文化

平成30年は明治維新から150年目の記念すべき年にあたり、明治期の宮廷文化にスポットを当てた展覧会を行います。明治政府と皇室は、欧米諸国との融和をはかるため、美をこらした鹿鳴館において、各国の使節をもてなすとともに、日本独自の芸術品を広く海外に紹介しました。こうした動きは日本の国際的地位を高める一方で、江戸時代から続く美術・工芸の保護育成に大きな役割を果たしました。

本展では、華やかな明治期の宮廷を彩った調度品や染織品、帝室技芸員の絵画・工芸品を一堂に集め、日本の美と技の粋を堪能する機会とします。

昭憲皇太后の御遺品


紺色紋絽流水柳文小袖
京都・曇華院門跡蔵
展示期間：5/8-5/27

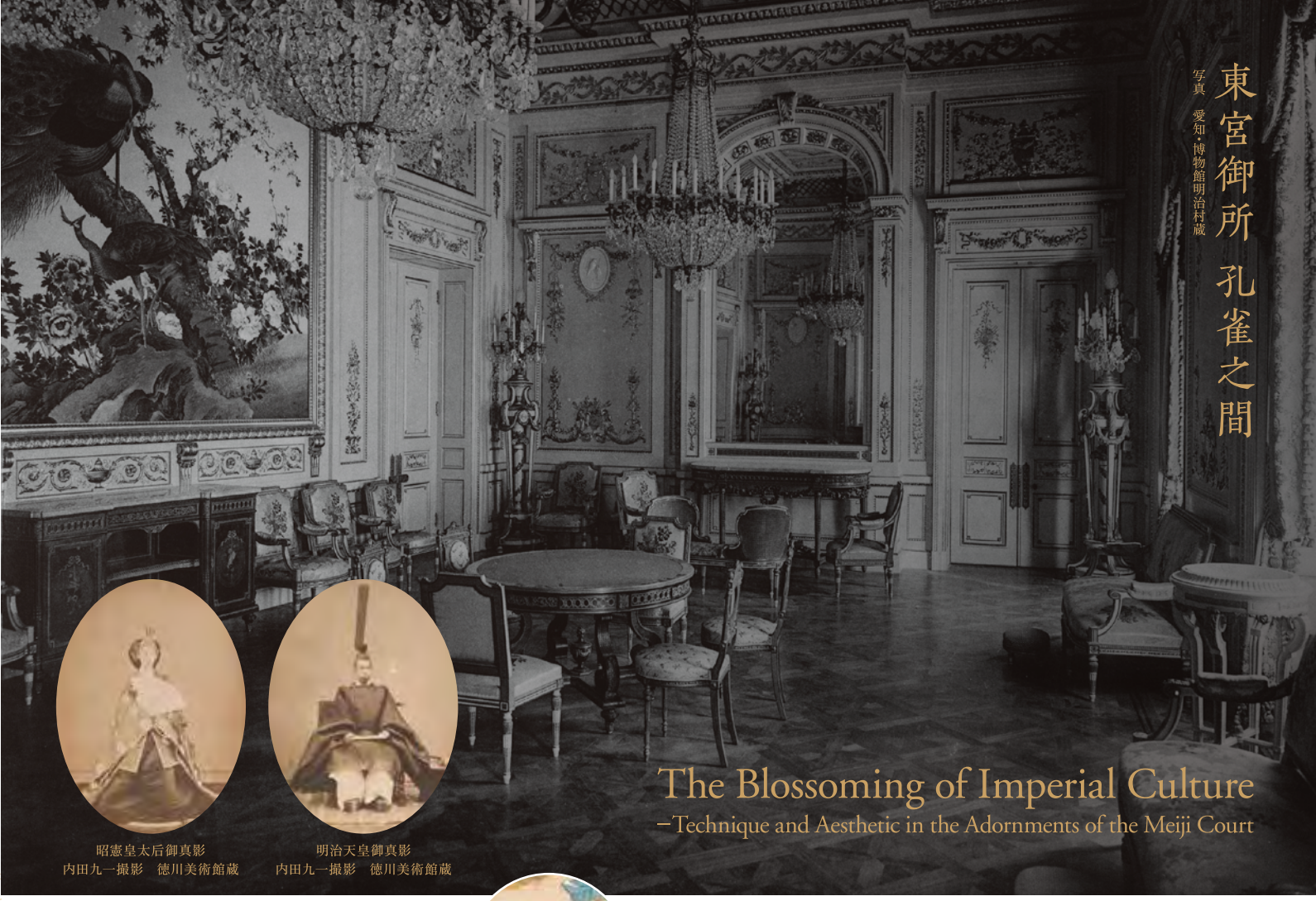

菊御紋菊枝蒔絵手箱
東京・学習院大学史料館蔵


テーブル　東宮御所家具
愛知・博物館明治村蔵


菊御紋卓布
京都・大聖寺門跡蔵

昭憲皇太后が愛用したドレス


通常礼服
京都・曇華院門跡蔵
展示期間：4/17-5/6



東宮御所 孔雀之間

写真 愛知・博物館明治村蔵

The Blossoming of Imperial Culture
—Technique and Aesthetic in the Adornments of the Meiji Court

昭憲皇太后御真影
内田九一撮影　徳川美術館蔵

明治天皇御真影
内田九一撮影　徳川美術館蔵

明治天皇 見聞録!!

明治天皇、名古屋の地に

明治天皇は東京へ動座する際、明治元年（一八六八）九月二十七日に名古屋に到着し、熱田神宮へ参拝した後、東海道沿道の八丁畷（現・瑞穂区東ノ宮神社付近）で農民の収穫を初めて天覧しました。

尾張徳川家十四代慶勝・義宜父子は、熱田西浜御殿を行在所として天皇を迎え、翌日は鳴海まで鳳輦を警護しました。図は八丁畷での農事天覧の様子を描いています。鳳輦に刈り取った稲を捧げているのが岩倉具視で、その右側に慶勝父子が拝伏しています。





慶勝父子

岩倉具視

明治天皇覧稲之図
森村宜稲筆　徳川美術館蔵

特別講演会

4月28日(土)

「昔語りは珠匣のごとく
—平成に伝えられる明治の皇室文化—」

彬子女王殿下

午後1時30分～3時

定員180名　※申込制無料（入館料は別途要）

申込方法　往復はがきに住所・氏名・人数・Telを記入の上徳川美術館特別講演係まで。2月28日必着、抽選。1枚で2名まで。

土曜講座

① 4月21日(土)

「尾張徳川家名宝の伝来を紐とく」

四辻秀紀（徳川美術館 学芸部長）

② 5月19日(土)

「幕末から明治の美術をめぐる環境」

薄田大輔（徳川美術館 学芸員）

各日午後1時30分～3時 ※有料

特別講座

① 4月22日(日)

レクチャーコンサート

「華ひらく明治の西洋音楽」

② 5月12日(土)

「宮中晩餐会とボンボニエール」

長佐古美奈子氏（学習院大学史料館 学芸員）

③ 5月13日(日)

「華ひらく皇室文化
—明治天皇と昭憲皇太后が愛でた美術品」

小松大秀氏（本展監修者・公益財団法人 永青文庫 館長）

①午後2時～、②・③午後1時30分～3時 ※申込制有料

お問い合わせ：052-935-6262

GW特別企画

5月3日(木・祝)～5日(土・祝)

「戦国武将なりきり体験」

兜や模造刀に触れたり、記念写真が撮れます。

午前11時～12時・午後1～3時 ※入館者参加自由

徳川園催事

春を謳う
徳川園牡丹祭
4月7日(土)～4月30日(月・振休)



次回予告

企画展「タイムスリップ1918 大正の名古屋
—米騒動絵巻に見る100年前のモダン都市—」

同時開催「ユネスコ世界記憶遺産登録記念 朝鮮通信使と名古屋」

6月1日(金)～
7月16日(月・祝)



米騒動絵巻（部分）
桜井清香筆
徳川美術館蔵

基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
JR中央本線「大曽根駅」下車
南口より徒歩10分

徳川美術館
THE TOKUGAWA ART MUSEUM
蓬左文庫
HOSA LIBRARY

〒461-0023 名古屋市東区徳川町
徳川美術館　電話(052)935-6262
名古屋市蓬左文庫　電話(052)935-2173

